

口コミで広がる評判、今も信じられる 1つ1つの家族と向き合う家づくり



ギャラリーと自宅が併設したS邸。スクエアを基本としたキューブ型の外観に、片流れの屋根がアクセントを加えている。壁面の白は漆喰、黒は天然木と自然の質感を活かしたモダンな仕上げ。自宅は伝統の平屋造り。少数精鋭で施工力に定評がある同社はどちらも得意分野だ（S邸）



ダイニングから望むリビングルーム。白を基調とした壁面と天然木の家具がマッチして上品なデザインの間となっている。リビングの壁面に備え付けられたAVラックは、店舗設計でも定評のある同社が得意とする造作もの。天井をスッキリとさせるため、照明はほとんど埋め込み式のものを採用（A邸）



天井の見せ梁が印象的なリビングルーム。床材のナチュラルな雰囲気とスチール製のストリップ階段との質感のコントラストが興味深い。テレビラックはオリジナルの造作家具（T邸）



本格的な二間続きの和室。伝統的な空間ながら細部にはモダンな印象もうける（T邸）



通常のシステムキッチンに造作家具のカウンターをプラス。収納力も十分（T邸）



使い込んだ薪ストーブがシックな吹抜け空間。ともすれば単調になりがちな白い壁面を、形の違う窓の配置によってデザイン上のアクセントを付け、同時に採光も行っている（S邸）

お客様から教えられたことを
ふたたびお客様にお返しする日々

地域の人々から親しまれ、口コミでその丁寧な仕事広がっている西依建設。以前同社では、オーナーやその友人などを集めた、気さくな懇親会が開催されたという。その席上のことである。

「当社が施工したお宅を何邸かご案内したお客様でした。雑談の途中で『そういえば、Aさんのお宅はAさんらしいし、Bさんの家はBさんっぽいですよ』とおっしゃったんです。これはもう、最上級のほめ言葉ですね。自分たちが目指している方向に間違いがないと実感しました。また別のお客様に『まだまだ年間施工棟数が少なく』と話すところからこそ丁寧な仕事に期待して、西依さんを選んでんじゃない」と、目から鱗が落ちるような言葉もいただきました。

「西依建設はどんな会社かと聞かれると、いつもこのエピソードを思い出します。一期一会を大切に、出会った人々の話に耳を傾け、時間をかけて要望に応える。最近、そんな家づくりのパートナーは得難い存在だ。」

このレポートの見どころ

構造 木から鉄骨まで
様々な工法に対応

提案 時間をかけてじっくりと
オーナーの要望を形に

自社施工 店舗設計・施工で磨いた
造作家具づくりの腕

工法 鉄の神戸製鋼所の技術が注がれた家

鉄のプロフェッショナル「神戸製鋼所」が開発し、このたび西依建設が取り組んだ「BPS（ベネ・パワー・システム）工法」の家。その主要構造部に用いられるスチール材（鋼材）は、厳しい耐食性が要求される自動車や屋根材などの開発で長年培ってきた高度な表面処理技術を駆使した「亜鉛めっき鋼板」が使用されている。この亜鉛めっき鋼板を形鋼に加工した薄板軽量形鋼を箱形に組み立てることで変形や揺れが少なく、低層の建築物に最適な耐震・耐風性能を実現したのだ。鉄の鋼材ならではのノウハウは、薄板軽量形鋼を組み合わせた耐力フレーム（BPSフレーム）にある。斜材の始端部と終端部をあえて柱端からずらすことで接合することにより、接合部への極端な力の集中を避け、この部分が変形することにより、水平方向への力のエネルギーを吸収しているのだ。



成型されたBPSフレームは、熟練したスタッフによって組み立てられる

●耐震（強さ）と耐風（粘り）を両立
各種腐食試験の結果によると、BPS工法に使用される亜鉛めっき鋼板は100年以上の耐久性を持っているという。反り、ねじれなどの経年劣化もなく、床などがたわむ「クリープ現象」の発生もなく、家族の毎日をしっかりと支えてくれる。

●外断熱による省エネ機能も魅力
BPS工法の家にはすべて、家の周囲をすっぽりと断熱材で覆う「外断熱工法」が採用されている。冷暖房コストの削減による省エネ性能も魅力の一つとなっている。

●2階からの不快な振動や音も軽減
建物の外部からの防音機能はもちろん、建物の内部でも高いレベルの防音性能を実現。「ベネダンパー」と呼ばれる制振材の採用によって2階からの振動や音を低減している。

●クリーンな室内環境を実現
シロアリや雑菌が寄りつかない「鉄」を使うことによってクリーンな空間を実現している。



亜鉛メッキ鋼板の外側をぐるりと断熱材で囲んだBPS工法の外断熱



映画が趣味というオーナーのために造作されたテレビコーナー。すべてお持ちの機材の寸法を採寸した上で作成された。白を基調とした壁面に紺色のタイルが映える（E邸）



いくつもの立方体を組み合わせた外観は、屋根の傾斜がアクセントとなっている。玄関のほかに、車椅子で出入りできるための入り口も設けられている（E邸）

ネット パートナーシップ 信頼の職人技との

同社がプランニングした間取図をもとに、軽量鉄骨パネルの設計・施工、そして現場での組み立てを担当するのがパートナーとなる「山口製作所」である。1960年代から鉄骨の建築物に取り組んできた、同社のノウハウに寄せられている信頼は大きい。



軽量鉄骨の職人技が冴える山口製作所社長の山口氏（中央）と設計の真茅氏（左）

スタッフ 気軽に相談できる 気さくな雰囲気

筑前町を通る県道593号線沿いに建つ西依建設の本社。一見すると普通の民家のようにも見えるアットホームな会社である。8名いるスタッフは気さくながら、営業、コーディネイト、設計、そして工務と、それぞれの道のプロである。駐車場も完備されているので、お近くの方はぜひ一度訪れてみていただきたい。



アットホームながら、それぞれがスペシャリストとしてのプライドを持つ



社内に設けられた相談コーナー。どんな相談にも気軽に応じてくれる



民家のような門構えの奥でプロが待つ。樹齢200年を超えるもちの木が目印

もっと詳しく知るにはこちら

西依建設（株）
〈住所〉福岡県朝倉郡筑前町上高場 985
〈TEL〉0946-24-3101

問い合わせ先
TEL / 0946-24-3101

●担当者からご案内
先日、お客様の新築披露パーティーにお招きいただきました。キッチンでご家族が楽しそうに準備をしている場面を拝見し、胸にこみ上げてくるものがありました。これからのこのようなシーンを目の当たりにしていきたい。そのために、お客様との密接な関係をより深めていくことが大切だと考えています。 専務取締役 西依 達也



●価格の目安
40万円 / 坪～
延床面積140.00㎡の場合
●商品データ
〈商品名〉〈家族日和〉〈家路〉
〈工法・構造〉木造軸組、その他（鉄骨造）
〈標準工期〉約4ヶ月（敷地の状態や建物の規模・仕様により異なります）
〈商品の特徴〉住まいづくりに対する要望はもちろん、資金計画についてもヒアリングを行い、予算の範囲内でのプラン提案を心がけています。
●施工対応エリア
福岡県全域、佐賀エリア、その他（大分県日田市）
※その他の地域でも施工可能な場合がありますがお気軽にご相談ください。
●アフター・保証
JIOによる住宅瑕疵担保責任保険
●会社概要
〈設立〉2000年8月（創業 / 1971年5月）
〈資本金〉3000万円
〈従業員数〉8名
有資格者 /
一級建築施工管理技士：4名
二級建築士：5名

一級土木施工管理技士：1名
二級土木施工管理技士：1名
二級建設業経理事務士：1名
宅地建物取引主任者：2名
〈FAX〉0946-24-3630
〈URL〉http://www.nishiyori.com
〈E-mail〉style@nishiyori.com
〈対応可能工法〉木造軸組、その他（鉄骨造）
〈施工実績〉4棟（2009年度）
〈建設業許可番号〉福岡県知事許可（特-22）第94266号
〈建築士事務所登録〉二級建築士事務所登録 福岡県知事 第2-40220号



神戸製鋼所が長年培ってきた鉄の表面処理技術による「亜鉛めっき鋼板」を素材にした構造材が、次々と現場で組み立てられていく。この「鉄の骨」が、長年にわたる家族の安心を実現してくれる。また部材の高度な規格化によって、鉄骨の家を手が届く価格で実現したという功績も大きいのではないだろうか（E邸）



軽量鉄骨の家のもう一つのメリットが、空間設計の自由度である。広い床面積を壁面だけで支えることができるため、余分な柱や壁などが必要ない（E邸）

見学会 3月上旬にチャンス 構造見学会を予定

工期が短いこの住まいの場合、構造体はすぐに壁で塞がれてしまう。それだけに構造を見学する機会が少ないわけだ。幸い2011年着工する物件が3月中旬に見学できるタイミングとなる。関心のある方は、ホームページをまめにチェックしていただきたい。



独特のノウハウでパネル化された軽量鉄骨を直接目にできる貴重な機会だ



軽量鉄骨の家を選ぶ動機の大半が、災害に強い強靭さにあるようだ。万が一の際にも家族が安全に暮らせるという安心感を大切にしたい人には最適の家である（E邸）